

# ご検討中の団体責任者様へ

『団体受検』の導入に伴い、受検案内(受検募集)の効果的なポイントをご紹介しますので是非ともご活用ください。

## 配布物 で告知

導入の目的や受検の趣旨を明確に伝えることで、スムーズな運営が可能

教育関連や学校で取り組む場合、大勢の生徒に受検を促すためには運営の軸となる、実施団体側の考えや運用方法をしっかりとひとつにまとめることがカギになります。  
当協会のサイトや配布物等を活用することで、「バク転技能検定」の内容や受検の流れが理解しやすくなります。また、それと併せて導入目的や受検の意味合いを明確に伝えることで、受検者数を増やしていくことができます。

## 伝える 方法

生徒・保護者の方の理解を得るためにも、検定導入の目的やその効果などの丁寧な告知が重要

告知の際に重要なのは、チャレンジする理由を受検対象者にわかりやすく説明することです。  
さらに、小・中学生においては保護者の後押しが大きなきっかけとなります。こういった目的で受検するのか、どんな効果が得られるのかを丁寧に説明し、保護者の理解を深めることが大切です。

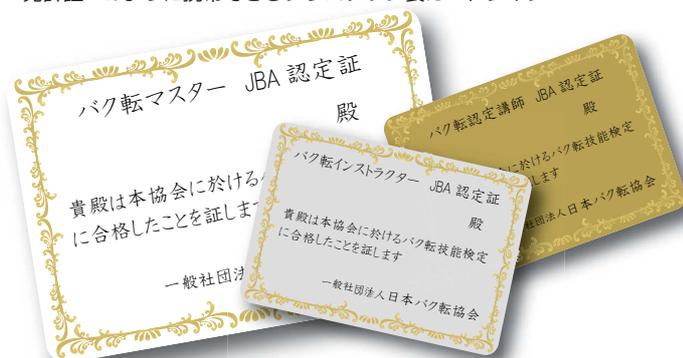
## 成果を 評価

目的意識の強化とモチベーション UP

日々の練習の中で試験を実施したり、特別イベントとして取り入れることで、今までとは違った雰囲気や感覚を味わう事ができるので、ひとりひとりが目的意識も高めて練習に臨むことが期待できます。  
また、保護者の方にカリキュラムの一環として賛同してもらうことで、独創性のある指導内容としてアピールすることができたり、講師のスキルや実施団体自体の評価も上げることができます。

合格された方は  
認定証カード授与

“免許証”のように携帯できるプラスチック製カードタイプ



検定によってカラーが異なります